

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株)東建設計	代表者	代表取締役 中里義範	法人・ 事業所 の特徴	平成 27 年 3 月 1 日開設、「生き生きと穏やかに」を理念に掲げ、高齢者が在宅生活を継続していきることができるように訪問、通い、泊まりを調整し支援している。認知症の独居の利用者が増加しており、地域高齢者支援センター、医療機関、訪問看護、訪問リハ、福祉用具等との多職種連携を図っている。毎日午前午後の体操レクやドライブ、行事等で楽しみや他者との関わりを深め、社会的に自立した生活を目指して支援している。コロナも 5 類になり、ボランティアも少しずつ増えている。地域と関わりを深めていきたい。
事業所名	小規模多機能ホーム 椿寿園	管理者	西浦敏恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	4 人	1 人	人	人	1 人	人	1 人	人	8 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	講習を受けた後、伝達研修を行い職員全員が知識を深めていけるようにする。ミーティング時に実施する。	講習について、必要な内容を選択し、職員に参加を促している。会場にて行う研修、リモートでの研修あるが、職員が不公平にならないように本人の希望も聞きながらすすめた。参加することで知識も広がり、伝達研修を行うことで他職員も学ぶことができています。毎日（13：00～13：20）、利用者が昼寝や休憩している間、全員集まり実施、情報共有や学びの場となっている。	自己評価に取り組む姿勢があり、ミーティングで職員間のケアの共有を図り、利用者へ寄り添ったケアを目指していることを確認できた。今後も利用者、家族にとってより良いケアサービスを続けてほしい。	ケアマネジャーは、園と家庭（家族利用者）のつなぎ役、モニタリング（評価）でニーズを把握し、ミーティングで話し合い、寄り添ったケアを実施していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	認知症について知識を深め、対応の仕方を学ぶ。無断外出される利用者への対応に力を注いでいく。	事業所玄関に鍵をかけないことを目標にしていたが、A様が出て行き、警察に保護された。利用者的人数に見合う職員配置だけでは不足ある為、A様に寄り添う人員を増やし対応している。	認知症の方が徘徊し行方不明になって見つからないケースは全国でニュースになっている。どうしても鍵をかけざるを得ない状況もあり、人の命を守る為に仕方のない時もあることを認識している。	A様は朝 7 時に来園される。職員も 7～8 時少ない為、臨機応変に鍵をかけ事故を防いでいるが、最近では職員同志声かけ合い、A様の様子確認を行い、鍵をかけることは 1W に 1～2 回程度となっている。鍵をかけないケアを目指していく。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ禍も下火となり、普段の生活を取り戻しつつある。公民館での予防教室等、地域行事に参加をすすめていく。	高齢者支援センターや居宅介護支援事業所、町内、地域の方々から相談あった場合、より良い方向へ進まれるよう対応に努めている。地域の行事（にこにこ教室）には、月 1 回職員が参加し学びの場となっている。	地域の方にとって何でも相談できる場所であってほしい。内容によっては、高齢者支援センター、民生委員等へも相談してほしい。	コロナも 5 類となり、えんぶり、アコーディオン演奏、ピアノ演奏、お茶会等、ボランティアの行事が広がりつつある。利用者の生活の質の向上ができるよう行事を増やしていく。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>「～したい」の実現が在宅生活の継続につながる。 利用者以外の方へ訪問し、必要な支援を行っていく。場合により、多職種連携を図っていく。</p>	<p>「～したい」の実現について、モニタリングや日々の関わりの中から把握し利用者とは話し合い、実現に向けて取り組んできた。医療機関、訪問リハ、福祉用具、理美容等、必要なところを支援し、利用者の生活が継続できている。</p>	<p>高齢者支援センター主催の地域ケア会議に民生委員も参加した。一人暮らしの高齢者でも生活の仕方が種々あることを知った。その人に合った生活の支援を続けてほしい。</p>	<p>高齢者の生活は、在宅か施設か選択が必要な時が出てくる。利用者が家で暮らしたい希望に寄り添い、必要なサービスを実施し、在宅生活を継続できるよう支援していく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>メンバーは常に地域のかかわりが大きい役職の方々である。事例検討を多くし、より良いアドバイスを受け運営に役立てていく。</p>	<p>毎回、運営状況やケース会議を実施し、理解を深めていただいている。民生委員の方々と情報交換も行うことができている。</p>	<p>利用者の在宅生活を継続していく為に、様々の支援を行っていることを知った。ボランティアの方々の大事さも把握できた。</p>	<p>毎回、短い時間の中でコロナ状況や新しい八戸市の施策(災害への取り組み)について情報を共有し、地域の方に知っていただき、地域に溶け込んだ施設であることを目指していきたい。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>令和6年度からBCP計画が義務付けられる。小規模事業所であるが、災害があっても利用者の生活が滞ることなく継続できるよう、ミーティング等で話し合い、今年度中に作成していく。</p>	<p>災害があった場合、継続して運営ができるよう進めてきた。また、地震、津波に対してマニュアルを作成してきた。</p>	<p>地震、津波は東日本大震災で経験している。三八城公民館を避難場所として地域住民の方々が利用できた。能登半島の震災が八戸沖で起こった場合、どこに避難すればよいか、日頃から考えておく必要がある。</p>	<p>BCPの策定は毎月いっぱいである。策定しても場所や道路状況でスムーズに避難できるか難しい。少しずつ避難経路、物資について具体的にし、職員の対応がすぐできるよう準備を重ねていく。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月28日(13:15 ~ 14:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 西浦・宮崎・東・赤坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	1人	人	9人

前回の改善計画	新しい利用者の性格、生活歴、暮らし方等把握できていれば対応がスムーズに進むが、家族からの情報が十分に寄せられず分からないまま問題となる時がある。都度、家族とモニタリングを重ね、少しでもより良い対応ができるようミーティングで話し合いすすめていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	性格、生活歴は少しずつ利用の中で聞き取り、ミーティングで共有、理解を深めることができています。生活歴を知ることは、対応の仕方にとっても重要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	4			9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	4	1		9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	6			9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	3	2		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前に申し送りノートやミーティングを通じて、情報を得たり共有している。不安な気持ちにならないように対応ができています。 ・介護支援経過を見ることができ、利用者様、家族様の必要としている支援が把握できています。 ・初利用の様子を記録し情報を共有している。利用状況を見ながら少しずつ慣れていただけるように関わり方や席など配慮している。 ・不明な点はその日のうちに質問等して確認するようにしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・初利用、ご家族の方の思いを汲み取れていない。 ・④については、家族に直接お会いする機会がほとんどないため、関係作りに配慮できない事が多いと感じている。 	
理由)・日中、不在(仕事)の家族が多い。早朝7:00前、遅夕18:00以降の時間、他日曜日でないと家族に会えない。時間的に難しい所あり。	
・利用者様の日々の変化に気付けない時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用前に自宅でのサービス担当者会議での情報収集は限りがある。利用初期に関わりを多く持ち、安心して楽しく過ごせる環境作りに努める。利用者の情報を沢山把握することを心がける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月30日(13:15 ~ 14:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 西浦・伊藤・松長・東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	3人	2人	人	7人

前回の改善計画	
ケアマネジャーと職員1~2名は利用前に本人、家族とサービス担当者会議を開き目標について話し合い、ケアプランを作成している。ミーティングで対応のみ話し合い共有していた。今後、ケアプラン改正の都度、目標(長期目標1年間、短期目標6ヶ月)を職員間で共有することで、より「～したい」の実現に近づけるよう努めていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
利用者の自己実現を把握し、寄り添うことが少しずつできている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	4	2	1	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	1	1	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6	1	1	8
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	5	1	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・「在宅で過ごしたい」という本人の目標を実現・継続していく為に個別リハ、軽作業など実践している。 ・コミュニケーションの中で「～したいこと」「好きなこと、やってみたいこと」を聞いて支援につなげている。今できる事やレク活動に取り組んでいただいている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自ら発言できる方を優先している。 ・利用者様一人ひとりの満足感、反応がなく分かりにくい。 	
理由)・現在の体の状態や体調が理由で実行できていない。	
・認知症の利用者様、自己表現ができない利用者方は把握できず、実現できない。	
・申し送り、ミーティング録をしっかりと見ていないため。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
短期目標(6ヶ月後の希望される姿)を知り、利用者が考えている「～したい」(希望)について情報共有し、目標に近づく支援をしていく。「実現するには」を話し合い、試行錯誤しながら実施していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月31日(13:15 ~ 14:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 西浦・宮崎・関川・赤坂

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	1人	人	8人

前回の改善計画	職員が訪問するだけでなく、家族からの相談に対応することで改善を図り、在宅生活が継続できるようすすめていく。利用者、家族とのコミュニケーションを多くとり、求められる支援に対応していく。
前回の改善計画に対する取り組み結果	在宅生活の継続の為に、どのような支援を必要とされているか、ライフスタイルを大事に対応することに努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		7	1	2	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排泄等の基礎的な介護ができていますか?	3	5			8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	4	3		10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	6			9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	5	1		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族との連絡、福祉用具の調整、生活改善リハ、在宅でのバイタル、見守り、服薬、飲み込み確認、パット交換、食事セッティング、配食、自宅掃除、通院、ショッピング同行、ゴミ捨て、ベッドメイク等できている。 ・体調の変化に気づいた時は職員で情報を共有し、状況に合わせた対応している。 ・ミーティングで決定された本人の状況に合わせた食事や入浴、排泄等の介護、適切なケアを実施できている。 ・本人の表情、態度から要望されている事柄を推察し、試行錯誤しながらよりよいケアに努めている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・一人で暮らしている方が自分でできている所を把握できていない。 ・「以前の暮らし方」については、10個以上把握できていない事がある。 ・認知症を伴う利用者からの聞き取りに難しさを感じる。 <p>理由) ・介助者の主観で介助している時がある。 ・利用者様の普段の暮らしが理解できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>自宅ではどのような生活をされているか、生活スタイルを把握し、継続の為に支援をしていく。できる、できないを明確にし、できない所を支援していく。先ず、利用者が自宅でどのような暮らし方をされているか、聞き取っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月1日 (13:15 ~ 14:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 西浦・宮崎・東・松長

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	2人	3人	人	9人

前回の改善計画
地域との関わりを持ちながら暮らしてきているが、高齢により関わりが少なくなっている方が多い。一人一人に合った地域資源（利用者が地域で暮らしていく為に関わる全ての機関、病院、薬局、スーパー、公的機関、介護サービス、理美容院、訪問リハビリ、福祉用具等）の活用を模索し、その人らしい暮らし方に添えるよう話し合いながらすすめていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
コミュニケーションを深め、地域資源の利用を継続することで地域の中で生活が維持できていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	3		8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	4	3		9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	2	4	1	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	2	3	2	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・「掃除をして欲しい」「ゴミを出して欲しい」「料理をして欲しい」「草取りをして欲しい」料金の支払い、病院、スーパー、理美容院と細部にわたって寄り添えていると思う。 ・全部は把握していないが、個人ファイル、ケアマネ、訪問担当者から伝えられた情報を共有し、本人のこれまでの生活スタイル、人間関係、地域の関係性は現状維持できるよう支援している。 地域資源とは、「相談にのれる人との関わり」 (住民) 近所の人、近所の店で働く人 (場所) 集会所、公民館、商店、お寺、理美容院等の人 (乗り物) バス、タクシーの運転手 (医療) 医師、看護師、薬局の人 (公共機関) 市役所、郵便局、銀行等の人

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・通いに来ていない時、どのように地域とつながりを持たれているか、分からない事が多い。 ・近所や知人、地域の関係性について、分からない部分多い。 理由)・コミュニケーション技法に不足あり、聞き出せない。 ・把握しようとする積極性、認識不足である。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	介護サービス利用以前、地域との関わりがどの位あったか、今後も継続していくにあたり、どのような支援を求められているか知り、共有し地域の中で暮らしていけるように努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月3日 (13:00 ~ 13:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	西浦・伊藤・木村・梅津

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	4人	人	人	8人

前回の改善計画	在宅生活を継続していく為に、本人の「変化」に気づき、どのような支援が必要か話し合う。通い、訪問、宿泊を柔軟に提供していくことを心がけていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の希望、家族の希望により調整し、利用が可能になり、家族の介護軽減を図ることができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4	4	1		9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	3		1	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	6	1		9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	5	1		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族、園との連携共有できている。(家族様都合で泊まり、時間、対応し支援している) ・とても柔軟な支援ができていると思う。 ・今年は猛暑で自宅での生活が困難な利用者は、通いを増やしたり、泊まりを利用する等、ニーズに応じて柔軟に対応している。 ・利用者の日々の「変化」に気づき、ミーティング等で共有している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を使って支援できている人と事業所で支援せざるを得ない事もある。 	
理由)・本人、家族が地域資源を使うことを望まない場合もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
気候変動が激しく、高齢者の一人暮らしは難しいところもある。気温、湿度、体力等に注意をし、体調良く過ごしていく為に、通い、訪問、泊まりを柔軟な利用を勧めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月4日 (13:00 ~ 13:30)

6. 連携・協働

メンバー 西浦・梅津・赤坂・松長

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	3人	1人	人	8人

前回の改善計画

感染症（コロナ、インフルエンザ）について、医療機関が行っているリモート研修に月1回参加している。夜間に実施される為、参加者は限られるが、今後も職員の参加をすすめていく。本人が退院時、医師、看護師、家族との会議に参加し、ミーティングで共有している。
登録者以外の方より新聞紙や野菜の提供やボランティアの慰問等がある。コロナ対策をしながら関わりを継続していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

コロナも5類となり、ボランティアの受け入れも増やすことで、社会的に対応ができています。居宅介護支援事業所より登録外の方の相談あり、ボランティアで社会参加の対応をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	3	1	1	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		2	2	1	5
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	3	1	1	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	4	2	1	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域のいろいろな方々が事業所を訪ねて下さっている。（アコーディオン演奏、行事等手伝いボランティア等）
- ・福祉用具、訪リハ、医療機関、訪問看護等、必要時サービス担当者会議を行っている。
- ・地域ケア会議、防災訓練等に参加している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・コロナ、インフル流行で訪問の機会がなかった。
- ・自治体や地域包括支援センターとの会議に参加できていない。

理由) ・研修会に参加する機会がなかったため。
・参加は時間的に限られた職員のみでの参加であった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

筋力低下による転倒防止や、在宅生活維持の為に、福祉用具の利用や訪問医療、訪問看護等と連絡を取り合い、安心安全な生活の継続に努める。高齢者支援センターやボランティアとのつながりを持ち、園だけで抱えず、他職種と連携を図っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月7日 (13:00 ~ 13:30)

7. 運営

メンバー 西浦・宮崎・赤坂・白井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	人	人	7人

前回の改善計画	コロナ禍の為、地域の方々との関わりは少ない。利用者、家族、介護者からの苦情については今後もミーティングで話し合い、スピード感ある対応を心がけていく。 ミーティング以外でもお互い気づいた点は話し合いミーティングで共有していくという意識をすすめていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ感染者も時々ある。早速に利用者、職員の検査をし、運営が継続できるよう対応している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	4	2	1	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6			8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6			8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	3	3		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族からの意見や苦情は、都度改善に向けて対応に努めている。ミーティングで対策を話し合い検討し実施している。 ・気づいた時は、職員、ミーティング等で共有できている。 ・モニタリングでケアの不足や不都合等確認し対応している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域と協働した取組みの具体的な内容が理解できていない。 ・直接、地域の方々に関わっていない。 	
理由) ・意見や苦情に対し、訴えあった時は対応するが、一人一人に寄り添い苦情を聞き取る余裕がない。 コミュニケーションや表情態度から推察していく努力が十分でない。 ・勤務状況により、地域の方々との関わりができない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員間の情報共有が一番大事である。毎日のミーティングで利用者の支援、行事、家族からの意見、苦情等を話し合い、風通しの良い運営に努めていく。トップダウンではなく、職員が自ら考えて行うことを目標としていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月7日 (13:00 ~ 13:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 西浦・宮崎・赤坂・白井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	1人	1人	8人

前回の改善計画
<p>スキルアップの為に職員全員が研修に参加できるように調整していく。 運営推進会議もコロナ禍で開催が難しい時もある。又、日程も日曜日の為参加できる職員も少ない。調整をつけながら参加をすすめていき、地域の中で暮らしていく高齢者についてどのような支援が必要か考えていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>職員の時間的制約があり、研修に参加が偏りあったが、全員が機会を持てるよう努めた。 資格のない職員全員が認知症介護基礎研修を受講した。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	2	1	1	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	3	1	1	9
③	地域連絡会に参加していますか		2	1	4	7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	3	1	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・リモート研修や地域での研修に参加している。内容を内部研修で伝達している。高齢者支援センター主催のここにこ教室は毎月参加している。 ・園内研修を実施している。 ・研修に参加した職員は、ミーティングで伝達研修を行い共有している。 ・職場内の研修に参加できない時も、後から資料を見て把握している。 ・感染予防のため、マスクの着用や手指消毒、テーブル等のアルコール消毒、換気等を実施している。 ・誤嚥性肺炎の予防のため、誤嚥体操等を行い、筋力向上に努めている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・どのような研修があるか、分からない。 ・運営推進会議に出席する機会がない。日曜日に行われているので、今後自らの日程を調整し参加してみたい。 ・リスクの高い利用者数名に対応不足がある。 	理由) ・勤務状況により参加が難しい時が多い。 ・対応不足に人的補充を考えていなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
外部研修の参加は時間的制約があるが、なるべく職員が交替で参加できるように勧め、伝達研修で職員の共有を図る。ミーティング時、短時間でも勉強すること(内部研修)で質の向上を目指す。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月4日 (13:00 ~ 13:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 西浦・東・儀俄・白井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	6人	人	人	8人

前回の改善計画	ホールにベッド4台並べて昼寝していただいている為、プライバシーの保護ができない場合もあった。今後、そのような利用者は必ず居室で休んでいただくようにした。 常に職員同志気づきを話し合い、啓発し合い、尊厳が守られ、プライバシーが保護されるケアを目指していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	尊厳ある言葉遣い、対応、プライバシー保護について意識さ、少しずつ高めることができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	2			9
②	虐待は行われていない	8	1			9
③	プライバシーが守られている	6	2			8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	1	1	1	9
⑤	適正な個人情報の管理ができています	6	3			9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束や虐待はしていない。転倒や車イスからの転落の恐れのある利用者は、家族に了解を得て、予防のクッションを使用している。 ・拘束や虐待について研修で理解をし、そのような事ないか話し合っている。 ・プライバシーの保護に努めているが、利用者の状況により常に観察が必要である事があり、個室対応が難しいのでホール使用せざるを得ない場合がある。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の研修は受けたが、活かしていない。又どのように活かせるか具体的方策を見出せていない。 	
理由)・成年後見人制度の例がなく、身近な問題として考えることができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の尊厳を守る為、必ず守らなければならないこと、職員間啓発の心構えを持ち対応していくことを徹底していく。	